

誰もが住みやすい街 なごやへ

発達障害のこと、知っていますか？

発達障害とは、生まれつきの脳機能の障害で、育て方や本人の甘えが原因ではありません。

自閉スペクトラム症

コミュニケーションが苦手・
こだわりや感覚の特性あり

注意欠如・多動症

集中できない・じっとしてい
られない・衝動的

限局性学習症(学習障害)

読み・書き・計算など特定分野
が極端に苦手

上記の症状があり、学校・職場・家庭などで本来の力を発揮できず周囲のサポート・理解が必要な場合に診断されます。



発達障害者支援センター所長



あさい ともこ

浅井 朋子さん

小児科医として医療機関で発達障害児の診療に携わる。平成18年(2006年)から、同所長として、相談業務を行うスタッフへの助言などを行う。



4/2(土)～8(金)の発達障害啓発週間に中部電力MIRAI TOWERを自閉症啓発シンボルカラーのブルーにライトアップします。

一人一人が多様性を認め、受け入れる寛容さが大切

自閉スペクトラム症では、自分の行動が他者からどのように見られるかという視点を持ちにくく、いわゆる「空気を読む」ことが苦手です。悪気なくやっていることが、誤解されやすいので、本人は辛いです。そんな時は、その場で起きていることについて説明し、どんな行動をとることが適切かを伝える「解説者」としての支援が役立ちます。

このような特性は、発達障害でなくても大なり小なり誰でもあるものです。私たち、一人一人が多様性を認め、受け入れる寛容さや穏やかなまなざしを持つという姿勢が大切です。

※市公式noteでは、子ども・大人それぞれの発達障害についての浅井所長の解説を掲載しています。→



発達障害に関する相談窓口

■発達障害者支援センターりんくす名古屋

日時	祝休日を除く月曜～金曜日の 午前8:45～午後5:15
場所	昭和区折戸町4-16
問合せ	☎ 757-6140 FAX 757-6141



多様性を認める社会は、発達障害の方だけでなく、誰にとっても生きやすい。

問合せ 子ども青少年局子ども福祉課 ☎ 972-3187 FAX 972-4438